

## 無敗で石川県の 空手チャンピオンで 国体選手にも 選ばれました

「街に彩りと元気を届けます」と「塗装業の地位向上」これをモットーに私はいま石川県金沢市に本店、小松市に本社をおく県内シェアNO.1の塗装会社 萩野塗装株式会社 代表として仕事をしています。業務内容は構造塗装に対する塗装、住宅・マンションなどの建築塗装工事、橋梁・電力鉄塔・工場プラント塗装などの鋼構造物塗装工事のほかには防水シーリングや足場組立工事など現場は多岐にわたります。石川県から依頼される公共工事やゼネコンさんからの依頼が約6割、そのほかの4割が民間企業や住宅・マンションなどの塗り替えになります。スタッフは総勢25名になりそのうち14名が職人、残りが営業と管理社員、そのほか外部委託の職人さんが80名を超えています。会社は祖父の忠節が立ち上げました。もともと塗装屋ではなく、祖父が始めたのはビリヤード場でした。なぜ？はいまとなつては分からないのですが、なにか出合いがあったのでしょうか。ビリヤード台つてフルト生地を貼っていますよね、そのうちにあの生地も売るようになり、ビリヤード場しながら生地を全国で売り歩いてのが萩野塗装の始まりです。いろいろな場所に生地を売りに行くわけなのですが、商品を載せていた自転車が悉く盗まれたんです。でも小松駅前に置いていた自転車だけは盗まれなかった、ここは善人の多い街だ！ということで小松に住みはじめたようです。鉄骨作りだったビリヤード場は戦時中、避難所として使われたのですが、戦後帰ってくるのと戦中混乱で所有権が取られなくなっていました。親戚が福井で塗装屋をしていて儲けているという情報を聞き、小松で塗装屋をはじめたのが昭和21年のことです。

祖父のあと父が会社を引き継ぎ、私が物心つく頃にはそれなりの規模になっていたので、

世間的に見ても裕福と思われる環境で何不自由なく育ててもらいました。会社を継ぐんだぞ！そのためには勉強して小松高校に行くのがいい！と小さいころから父に言われていました。自分自身も特になりたいものがなかったのと、社長は楽で儲かるのだ(笑)と思いついたので、将来的にそうなるもんだ、これといった疑問をもつこともなく幼少期を過ごしました。でもあまり勉強が好きでなく小松高校にはとどかず小松大谷高校に進みました。そこで夢中になったのが空手です。プロレスが好きだったので、プロレス部はなく代わりに空手を始めました。当時の空手部は部員もすくなく超弱小。空手経験のなかった私は試合に出ると当然1回戦負けなのですが、めちゃくちゃ悔しくて本気スイッチが入りました。石川県で優勝するイメージして、授業中も腕立て伏せして(笑)。誰も練習にこないなか1人でトレーニングを続け、練習が終わってからも極真空手の道場にいきましました。すると半年後本場に石川県で優勝することが出来たんです！そこからは負け知らず。卒業するまで無敗で石川県の空手チャンピオンで国体選手にも選ばれました。すると日本大学空手部からスカウトがきてそのまま進学しました。

しかし日大にすすむと差を見せつけられました。石川県チャンピオンなのでそれなりの自信はありましたが、日大に集まってくるのはインターハイチャンピオン級。幼いころから空手をしていたり、お父さんが道場主とかの日本中の空手エリートが集まり。4年間在籍して思ったのはやはりイメージの大切さ、彼らは日本どこかオリンピック金メダルまでイメージして練習を続けている、私は石川県チャンピオンまではイメージしていましたが、それ以上は描くことが出来なかった。だからイメージ通りというか自分が想像した通りの結果にしかならぬことがよくわかりました。練習をするのは大事なのですが、どこまで見据えて練習するかでやる成果が変わってくる、そんなことを思い知らされた4年間でした。

# 1日1ミリでも進化したら 今よりも後退することはない

